

【速報版：R7.11.5 時点】

若者アンケート調査結果報告書

令和7年11月

目次

1. はじめに	2
2. アンケート調査内容	2
3. アンケート結果の分析	5

1. はじめに

高知市では、「高知市こども計画（仮称）」の策定にあたり、未来を担う若者の声を市の施策に反映させることを重視しています。本アンケート調査は、高知市在住または市内に通勤・通学している18歳から39歳までの若者を対象に、こども・若者に関する様々な課題や意識、意見を幅広く聴取することを目的として実施しました。

若者自身が感じている現状や課題、将来への思いを把握し、より実効性のある「高知市こども計画（仮称）」を策定するための基礎資料として、本報告書をまとめています。

2. アンケート調査内容

（1）アンケート調査の概要

本調査は、若者の意識や実態を把握することを目的として実施しました。調査概要は以下の通りです。

実施期間	令和7年10月1日～令和7年10月15日
対象者	高知市在住、又は高知市内に通勤・通学している18歳～39歳の若者（今年度18歳になる17歳も含む）
目標回答件数	1,050件 ※信頼度95%、許容誤差3%
回答件数	1,804件
有効回答数	1,750件
有効回答率	97.0%
実施方法	インターネットを利用したウェブアンケート
主な質問項目	・あなた自身のこと ・居場所について ・若者の声を聴く取組 ・あなたの子どもの頃のこと ・こどもの権利 ・高知市へ伝えたいこと

※対象者（18歳～39歳）以外の方からの回答につきましては、当調査報告書には含めておりませんが、貴重なご意見として今後のこども計画の策定に反映してまいります。

(2) アンケート調査の周知方法

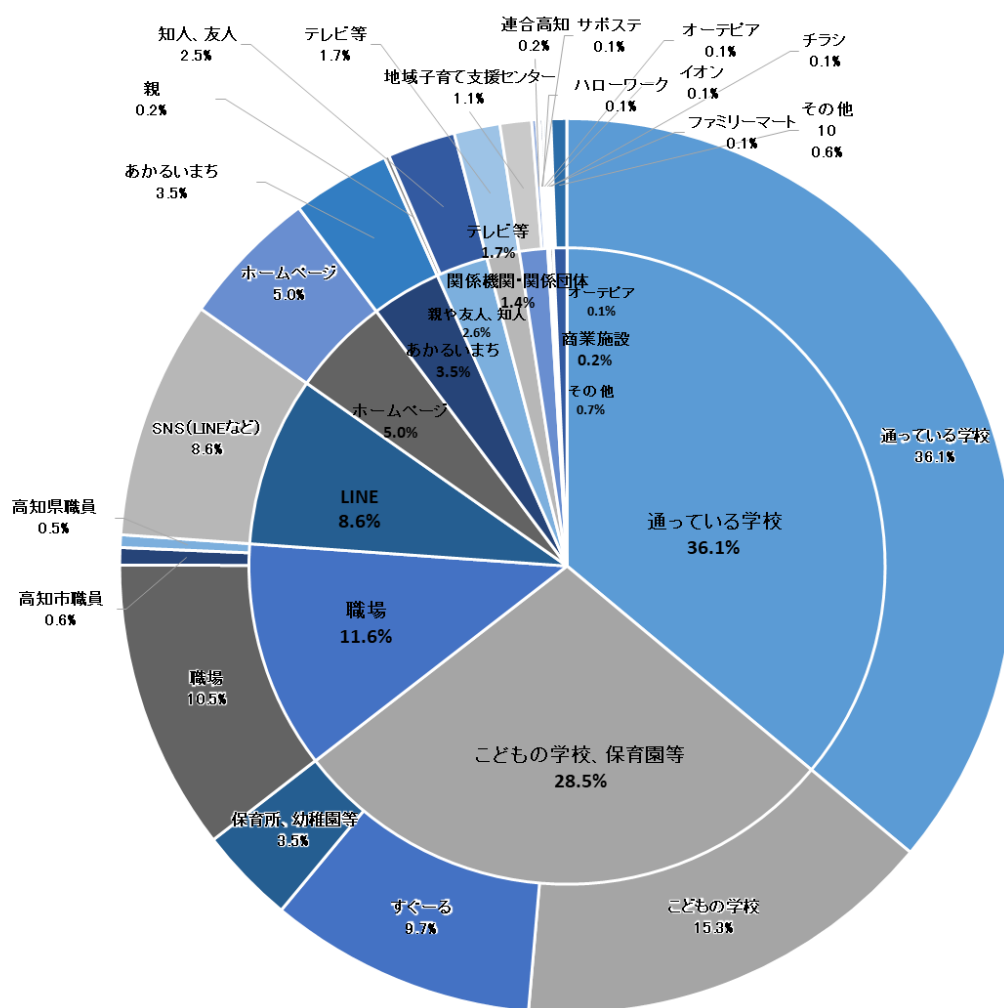
ウェブアンケート方式は、調査対象者に調査について気づいてもらうことが重要であるため、幅広く周知を行い、多くの方に関心を持っていただく必要があります。周知方法は以下の通り、高知市からの広報をはじめ、学校などから若者世代への周知、保育施設や地域子育て支援センターなどから子育て世代への周知、関係団体や店舗などへの協力要請など、さまざまな方法で周知を行い、多種多様な若者の意見を年齢や性別、所属に偏りがでないように聴取するように努めました。

【高知市広報】	【子育て世代への周知】
高知市広報紙あかるいまち(10月号)	公立保育施設の利用者(保護者)へ配信
高知市長定例記者会見(10/3)	公立児童クラブの利用者(保護者)へ配信
高知市公式 LINE での配信(10/3)	地域子育て支援センター
高知市ホームページ	教育・保育施設
高知市役所庁舎での掲示	【法人・店舗への周知協力要請】
オーテピア高知図書館での掲示	イオンリテール株式会社(イオンモール高知)
【若者世代への周知】	株式会社ファミリーマート
高知大学	【関係団体へ周知協力要請】
高知県立大学	高知青年会議所(JC)
高知学園大学 高知学園短期大学	高知県青年団協議会
高知工科大学	高知商工会議所
高知健康科学大学	高知商工会議所青年部(YEG)
学校法人龍馬学園	春野商工会
高知県立学校(高知市内のみ)	こうち若者サポートステーション
私立高等学校(高知市内のみ)	高知県社会福祉法人経営者協議会
高知商業高等学校	日本労働組合総連合会高知県連合会
高知県職員	ハローワーク高知(ハローワークジョブセンターほんまち、若者相談コーナー)
高知市職員	ハローワークいの

(3) 回答者の傾向

回答者がどこで本アンケート調査を知ったかについては、以下の通り回答がありました。(n=1,750)

大分類	内側の円グラフ	通っている学校	こどもの学校、保育園等			職場	LINE	高知市ホームページ	高知市広報紙「あかるいまち」	親や友人、知人		テレビ等	関係機関、関係団体				オーテピア高知図書館	商業施設	その他				
		631	498			203		151	88	62	46		29	25				2	3	12			
小分類	外側の円グラフ	通っている学校	こどもの学校	すぐーる(公立保育所、公立児童クラブのアプリ)	保育園、幼稚園等	職場	高知市職員掲示板	高知県職員掲示板	SNS(LINEなど)	ホームページ	高知市広報紙「あかるいまち」	親	知人、友人	テレビ等	地域子育て支援センター	連合高知	サボステ	ハローワーク	オーテピア高知図書館	イオン	ファミリーマート	チラシ	その他
		631	268	169	61	184	11	8	151	88	62	3	43	29	20	3	1	1	2	2	1	2	10



(4) 調査結果の見方・留意点

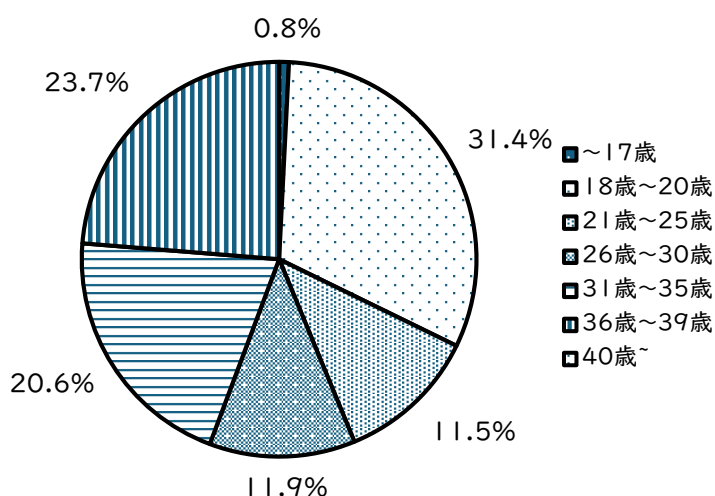
- ①図表中に記載している「n」は、各設問の有効回答者数を示している。また、比率算出の基数となるものです。
- ②集計は、百分率とし、小数点第2居を四捨五入して算出している。そのため、回答比率を合計しても100.0%にならない場合があります。

3. アンケート結果の分析

(1) 基本属性データ

問1 現在のあなたの年齢を教えてください。(n=1,750)

	～17歳	18歳～20歳	21歳～25歳	26歳～30歳	31歳～35歳	36歳～39歳
件数	14	550	202	209	360	415
割合	0.8%	31.4%	11.5%	11.9%	20.6%	23.7%

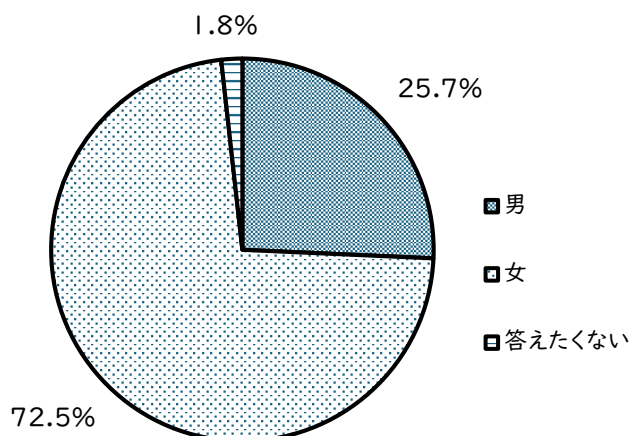


回答件数の割合は、18歳～20歳が全体の31.4%を占め、次いで36歳～39歳が23.7%となっています。

最も割合として少なかった21歳～25歳でも11.5%の回答を得ており、若者(18歳～39歳)全体からバランスよく回答を得ることができました。

問2 あなたの性別を教えてください。(n=1,750)

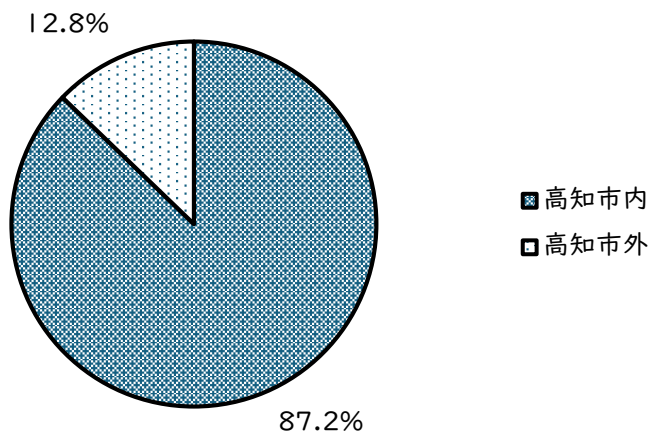
	男	女	答えたくない
件数	450	1269	31
割合	25.7%	72.5%	1.8%



回答者の男女割合は、女性が72.5%となっており、女性から多くの回答をいただきました。こども計画に対して、女性からの関心が高いことが分かります。

問 3 現在、あなたが住んでいる場所を教えてください。(n=1,750)

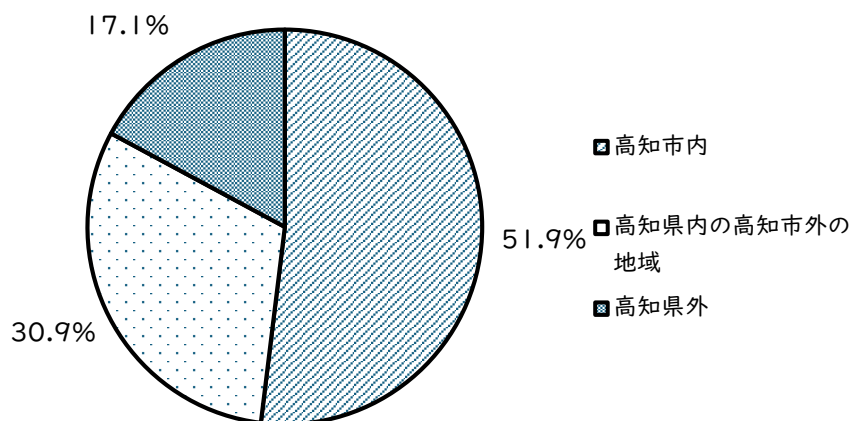
	高知市内	高知市外
件数	1526	224
割合	87.2%	12.8%



回答者に占める高知市内に住んでいる方の割合は87.2%となっており、市内在住者から多くの回答がありました。

問4 あなたが17歳までの大半を過ごした場所を教えてください。(n=1,750)

	高知市内	高知県内の高知市外の地域	高知県外
件数	909	541	300
割合	51.9%	30.9%	17.1%

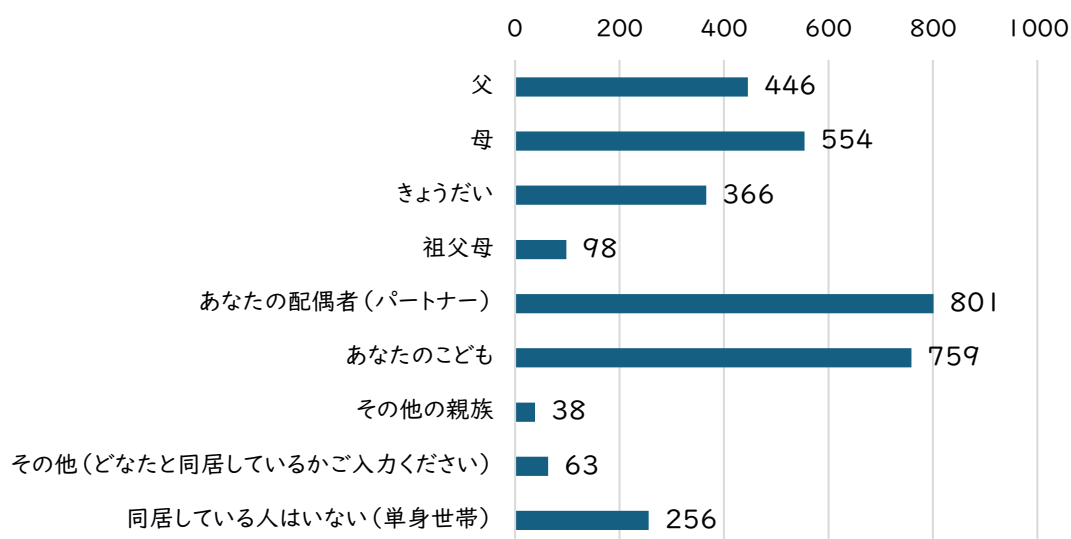


回答者のおおよそ半数が17歳までの大半を高知市内で過ごしたと回答しています。17歳までの大半を県外で過ごしたという方の回答も17.1%あり、県外から市内または県内に転入された方の意見も十分取り入れられています。

問 5 現在、あなたと同居している方をすべて選んでください。(複数選択可)

(n=1,750)

	父	母	きょうだい	祖父母	あなたの 配偶者 (パート ナー)	あなたの こども	その他の 親族	その他	同居して いる人は いない (単身世 帯)
件数	446	554	366	98	801	759	38	63	256
割合	25.5%	31.7%	20.9%	5.6%	45.8%	43.4%	2.2%	3.6%	14.6%

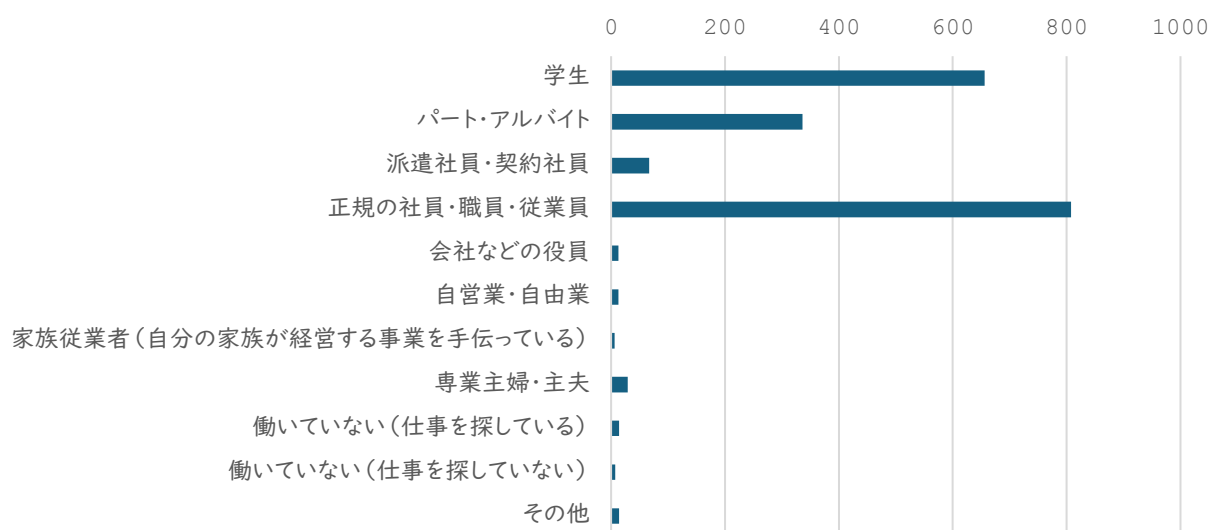


最も回答が多かったのは、「あなたの配偶者(パートナー)」と答えた方が45.8%と多く、次いで、「あなたのこども」と答えた方が43.4%となっています。

問 6 あなたの現在の就学・就労状況を教えてください。(複数選択可) (n=1,750)

	学生	パート・アルバイト	派遣社員・契約社員	正規の社員・職員・従業員	会社などの役員	自営業・自由業	家族従業者(※1)	専業主婦・主夫	働いていない(仕事を探している)	働いていない(仕事を探していない)	その他
件数	656	336	67	808	13	13	6	29	14	7	14
割合	37.5%	19.2%	3.8%	46.2%	0.7%	0.7%	0.3%	1.7%	0.8%	0.4%	0.8%

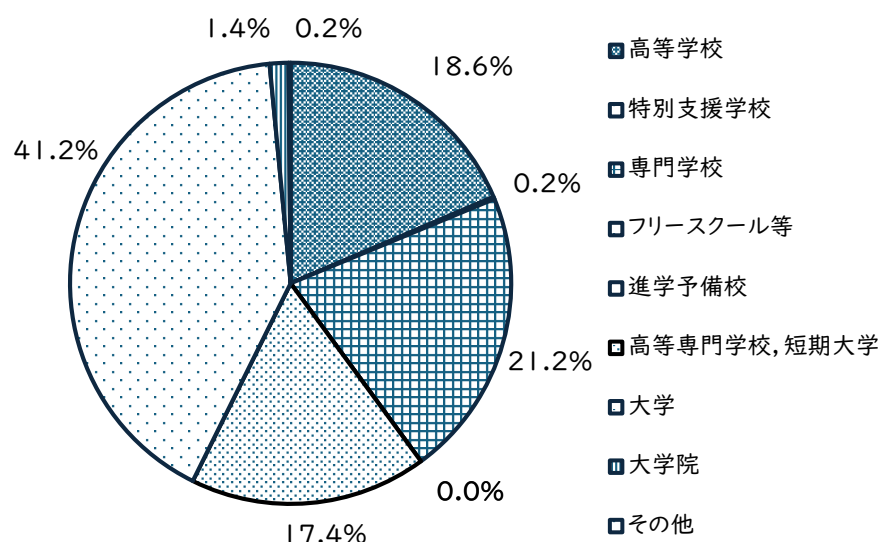
(※1) 自分の家族が経営する事業を手伝っている



現在の就学・就労状況は「正規の社員・職員・従業員」が46.2%と多く、次いで、「学生」が37.5%、「パート・アルバイト」が19.2%となっています。

問 7 あなたが在学する学校を教えてください。(n=656)

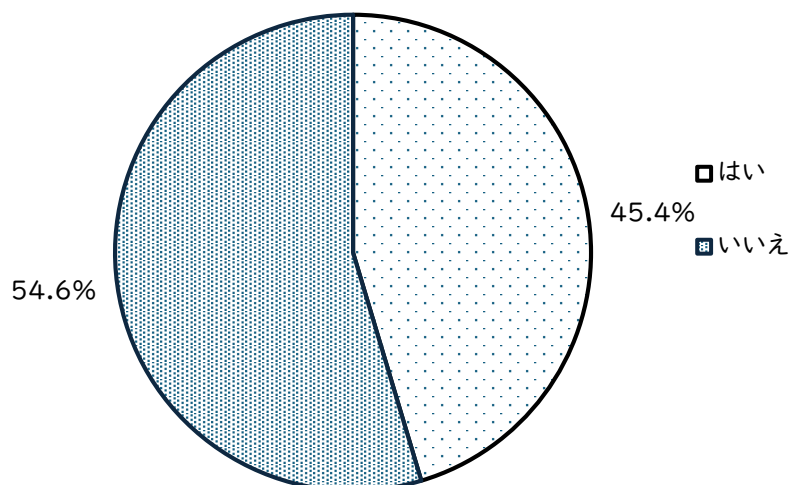
	高等学校	特別支援学校	専門学校	フリースクール等	進学予備校	高等専門学校, 短期大学	大学	大学院	その他
件数	122	1	139	0	0	114	270	9	1
割合	18.6%	0.2%	21.2%	0.0%	0.0%	17.4%	41.2%	1.4%	0.2%



在学する学校は、「大学」と答えた方が41.2%と多く、次いで、「専門学校」と答えた方が21.2%となっています。

問 8 現在、あなたは結婚(婚姻)していますか。(n=1,750)

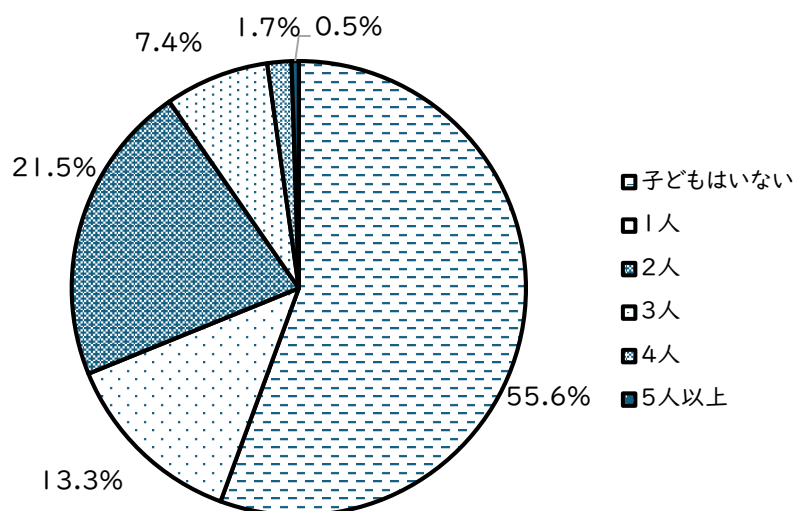
	はい	いいえ
件数	794	956
割合	45.4%	54.6%



回答者に占める既婚者の割合は45.4%と半数未満であり、回答の過半数が結婚していないと回答しています。

問 9 あなたにはお子さんがいますか。(n=1,750)

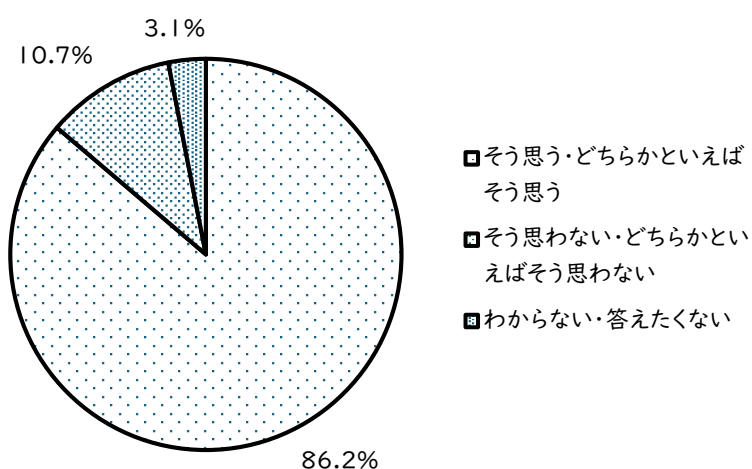
	子どもはいない	1人	2人	3人	4人	5人以上
件数	973	232	376	130	30	9
割合	55.6%	13.3%	21.5%	7.4%	1.7%	0.5%



回答者の55.6%が「子どもはいない」と回答し、割合として最も多くなっています。次いで、「2人」の回答が21.5%と多く、その次に「1人」の回答が13.3%となっています。子どもを持つ方の中では、「1人」の子どもを持つ方よりも「2人」の子どもを持つ方のほうが多い結果となりました。

問10 あなたは今、幸せだと思いますか。(n=1,750)

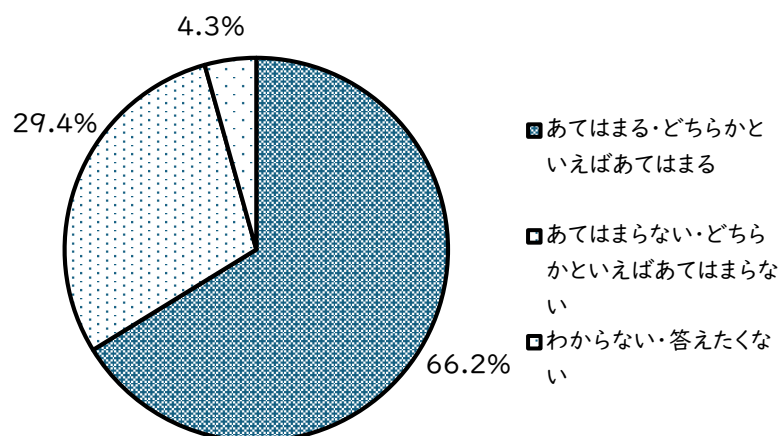
	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない・ 答えたくない
件数	662	847	112	75	54
割合	37.8%	48.4%	6.4%	4.3%	3.1%



今、幸せと思っている方（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）は86.2%であり、多くの方が幸せを実感しています。

問 11 今の自分が好きだ (n=1,750)

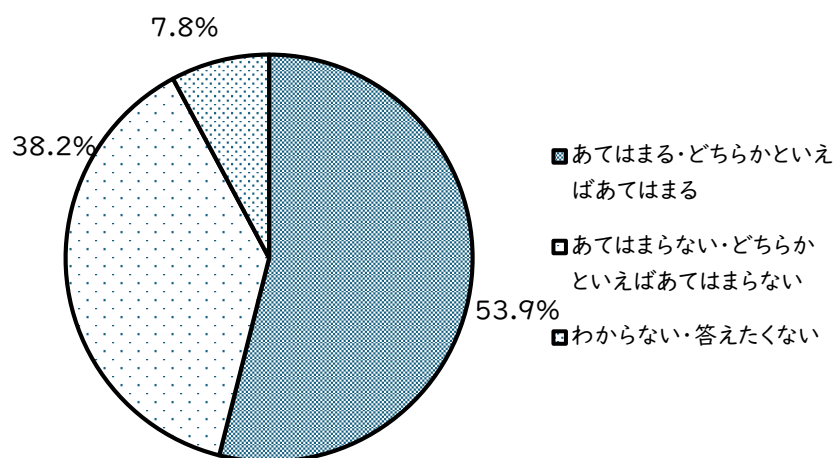
	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	わからない・答えたくない
件数	337	822	342	173	76
割合	19.3%	47.0%	19.5%	9.9%	4.3%



今の自分が好きだと思う方
 (「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計)は
 66.2%と過半数を超えています。

問 12 自分の将来に明るい希望をもっている (n=1,750)

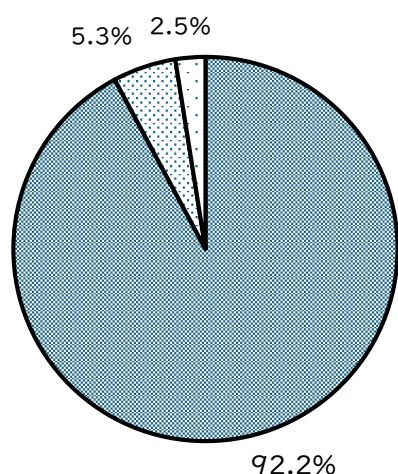
	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	わからない・答えたくない
件数	270	674	381	288	137
割合	15.4%	38.5%	21.8%	16.5%	7.8%



自分の将来に明るい希望をもっている、と答えた方(「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計)は53.9%と過半数となっている一方で、そう思わない(「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計)が38.2%となっており、4割近くの方が将来に明るい希望がもてないと考えています。

問 13 自分の親から愛されていると思う(n=1,750)

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまらない	わからない・ 答えたくない
件数	1,123	490	56	37	44
割合	64.2%	28.0%	3.2%	2.1%	2.5%

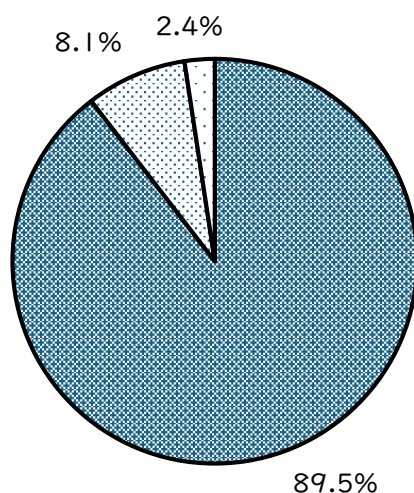


- あてはまる・どちらかといえ
ばあてはまる
- あてはまらない・どちらか
といえばあてはまらない
- わからない・答えたくない

自分の親から愛されてい
る、と答えた方（「あてはま
る」「どちらかといえはあては
まる」の合計）は92.2%と
高い割合となりました。

問 14 周りの人に自分の意見を聴いてもらえていると思う(n=1,750)

	あてはまる	どちらかといえ ばあてはまる	どちらかといえ ばあてはまらない	あてはまらない	わからない・ 答えたくない
件数	757	810	98	43	42
割合	43.3%	46.3%	5.6%	2.5%	2.4%

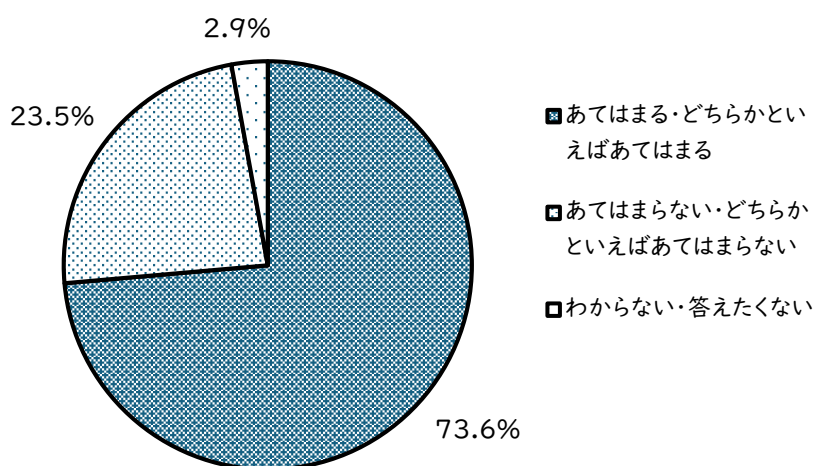


- あてはまる・どちらかといえ
ばあてはまる
- あてはまらない・どちらか
といえばあてはまらない
- わからない・答えたくない

周りに自分の意見を聴いて
もらえている、と答えた方
（「あてはまる」「どちらか
といえはあてはまる」の合計）
は89.5%と高い割合となり
ました。

問15 あなたは、今の暮らしに満足していますか (n=1,750)

	とても満足 している	どちらかといえば 満足している	どちらかといえば 満足していない	まったく満足 していない	わからない・ 答えたくない
件数	354	934	290	122	50
割合	20.2%	53.4%	16.6%	7.0%	2.9%



今の暮らしに満足してい
る、と答えた方(「あてはま
る」「どちらかといえばあて
はまる」の合計)は73.6%
であり、多くの方が満足して
いることが分かります。

問16 そう思う理由は何ですか。自由に入力してください。(n=328)

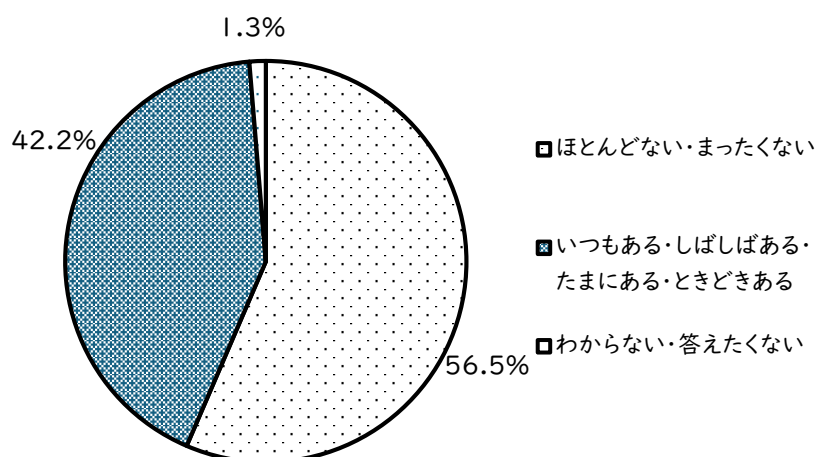
(問15)で「どちらかといえば満足していない」「まったく満足していない」と答えた人にお尋ねします。

主に、経済的な不安・不満と、子育てに関する不安・不満の意見が多くありました。

区分	主な意見
経済的な不安・不満	・金銭的な余裕がない、生活に余裕がない ・物価高で生活が大変である
子育てへの不安・不満	・仕事と子育ての両立に悩んでいる/頼れる人がいない ・仕事、家事、子育てに追われて自分の時間がない
将来に対する不安	・将来(老後)への不安がある ・将来が不透明である
その他	・南海トラフへの心配が尽きない ・休日の娯楽がない

問17 あなたが、自分が孤独だと感じることはありますか (n=1,750)

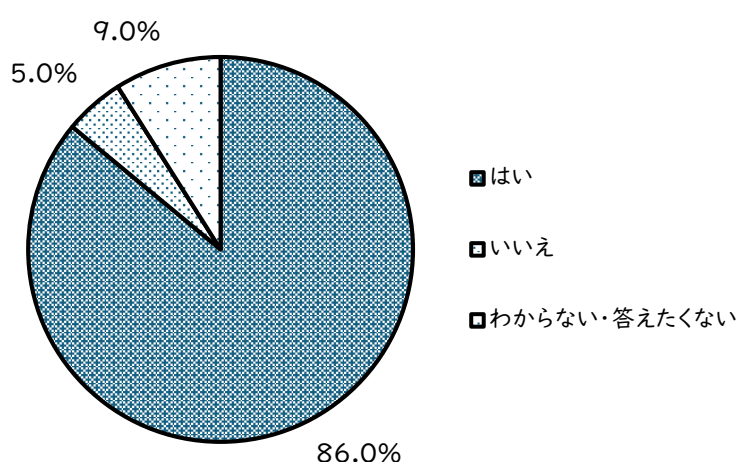
	まったくない	ほとんどない	たまにある	ときどきある	しばしばある	いつもある	わからない・答えたくない
件数	404	584	438	153	94	54	23
割合	23.1%	33.4%	25.0%	8.7%	5.4%	3.1%	1.3%



孤独を感じることもある、と答えた方(「いつもある」「しばしばある」「たまにある」「ときどきある」の合計)は42.2%で、4割を超える方が、孤独を感じることもある、と回答しています。

問18 あなたが困ったときに頼れる人や場所がありますか。(n=1,750)

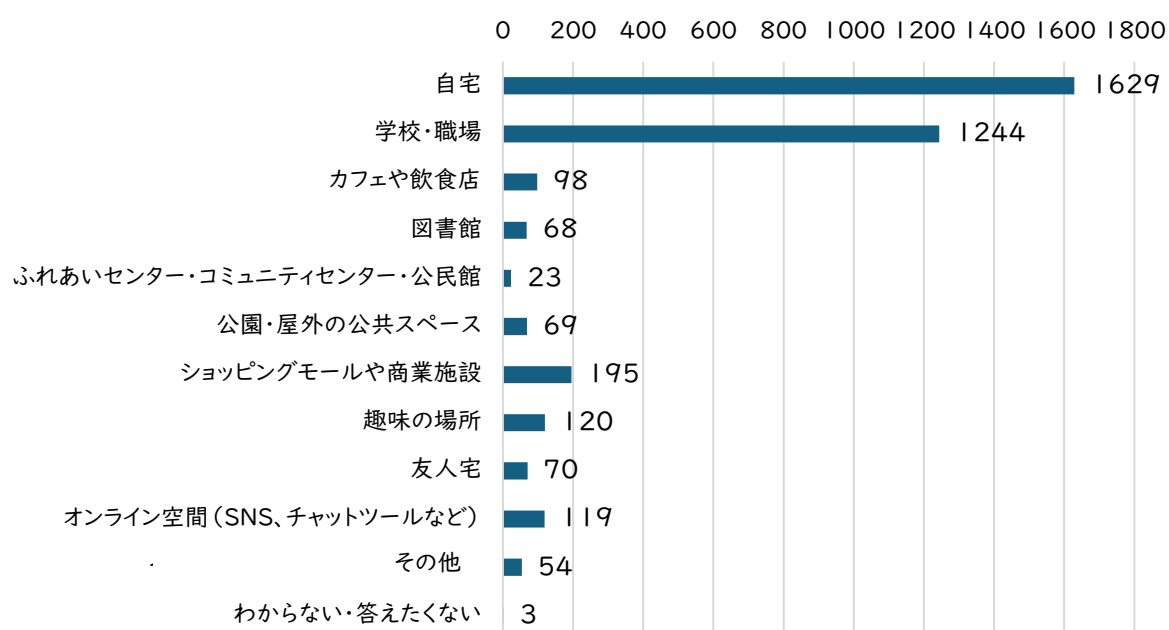
	はい	いいえ	わからない・答えたくない
件数	1,505	88	157
割合	86.0%	5.0%	9.0%



困っているときに頼れる人や場所がある、と答えた方は86.0%と高い割合となりました。

問 19 あなたは、普段、どこで過ごすことが多いですか。(複数回答可) (n=1,750)

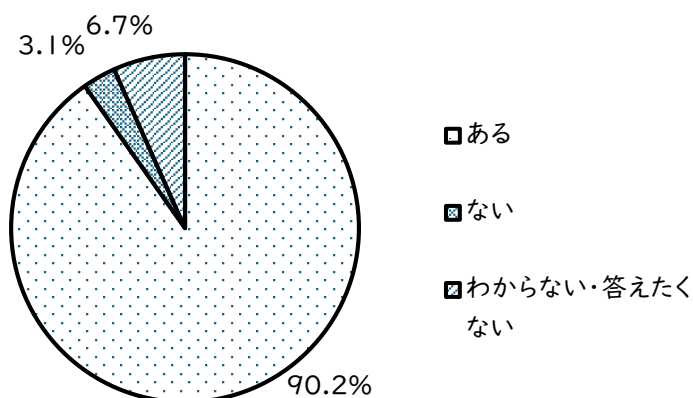
	自宅	学校・職場	カフェや飲食店	図書館	ふれあいセンター・コミュニティセンター・公民館	公園・屋外の公共スペース
件数	1,629	1,244	98	68	23	69
割合	93.1%	71.1%	5.6%	3.9%	1.3%	3.9%
	ショッピングモールや商業施設	趣味の場所	友人宅	オンライン空間 (SNS、チャットツールなど)	その他	わからない・答えたくない
件数	195	120	70	119	54	3
割合	11.1%	6.9%	4.0%	6.8%	3.1%	0.2%



普段過ごすことが多い場所は、「自宅」と答えた方が多く、1,750 人のうち 1,629 人が回答しました。次いで、「学校・職場」の回答も 1,244 人と多くなっています。

問 20 あなたにとっての「居場所」と感じられる場所がありますか。(n=1,750)

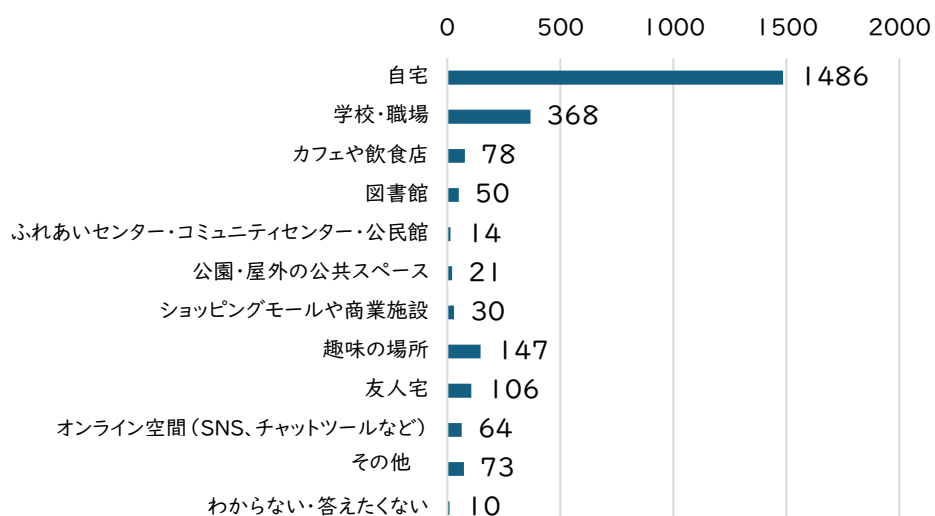
	ある	ない	わからない・ 答えたくない
件数	1,579	54	117
割合	90.2%	3.1%	6.7%



「居場所」と感じられる場所がある、と答えた方は90.2%と高い割合となりました。

問 21 あなたにとって「居場所」はどのような場所ですか。(複数選択可) (n=1,577)

	自宅	学校・職場	カフェや飲食店	図書館	ふれあいセンター・コミュニティセンター・公民館	公園・屋外の公共スペース
件数	1,486	368	78	50	14	21
割合	94.2%	23.3%	4.9%	3.2%	0.9%	1.3%
	ショッピングモールや商業施設	趣味の場所	友人宅	オンライン空間 (SNS、チャットツールなど)	その他	わからない・ 答えたくない
件数	30	147	106	64	73	10
割合	1.9%	9.3%	6.7%	4.1%	4.6%	0.6%



「居場所」と感じている場所は、「自宅」と答えた方が多く、次いで、「学校・職場」となっています。

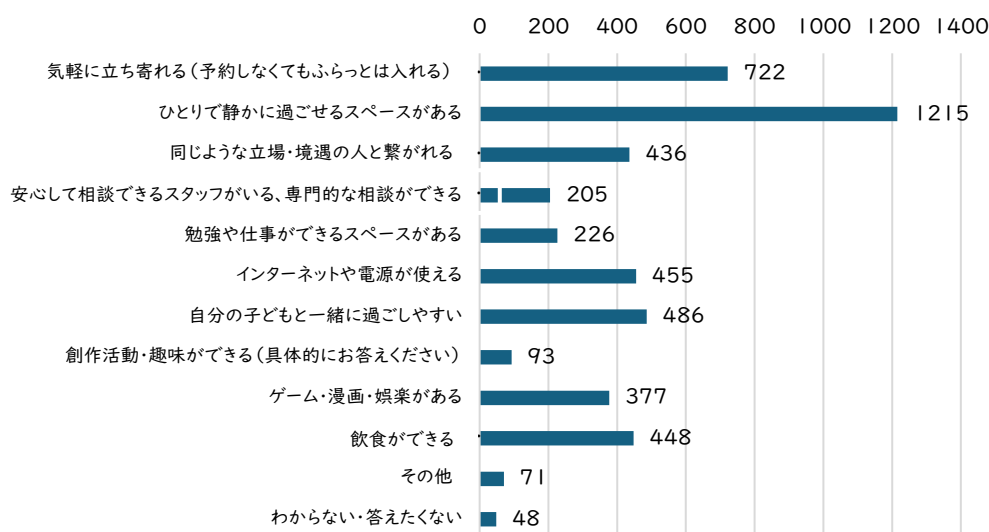
問22 そう感じる理由はなんですか。自由に入力してください。

(問20)で「ない」と答えた人にお尋ねします。

主な意見
<ul style="list-style-type: none"> ・どこにいても不安で落ち着かない。 ・子育てで一人になる時間がない/育児と仕事で毎日精一杯である。 ・しゃべり相手がおらず孤独に感じる。 ・ホッとできる場所がない

問 23 あなたにとっての「居場所」と感じられるために必要なことは何ですか。(複数回答可) (n=1,577)

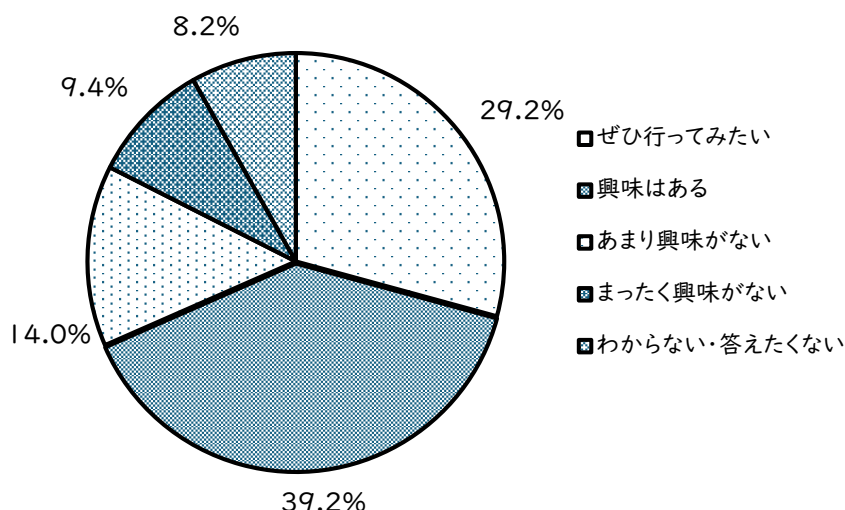
	気軽に立ち寄れる(予約しなくてもふらっと入れる)	ひとりで静かに過ごせるスペースがある	同じような立場・境遇の人と繋がれる(子育て中の人・趣味のあう人・就活中の人などの交流ができる)	安心して相談できるスタッフがいる、専門的な相談ができる	勉強や仕事ができるスペースがある	インターネットや電源が使える
件数	722	1215	436	205	226	455
割合	45.8%	77.0%	27.6%	13.0%	14.3%	28.9%
	自分の子どもと一緒に過ごしやすい	創作活動・趣味ができる(具体的にお答えください)	ゲーム・漫画・娯楽がある	飲食できる(軽食・飲み物が持ち込める,または提供がある)	その他	わからない・答えたくない
件数	486	93	377	448	71	48
割合	30.8%	5.9%	23.9%	28.4%	4.5%	3.0%



「居場所」と感じ
るために必要なこと
は「ひとりで静かに
過ごせるスペース
がある」こと、次い
で「気軽に立ち寄
れる」が多くなって
います。

問 24 高知市内に、前の問で答えた「あなたにとっての居場所」があったら行ってみたいですか。(n=171)

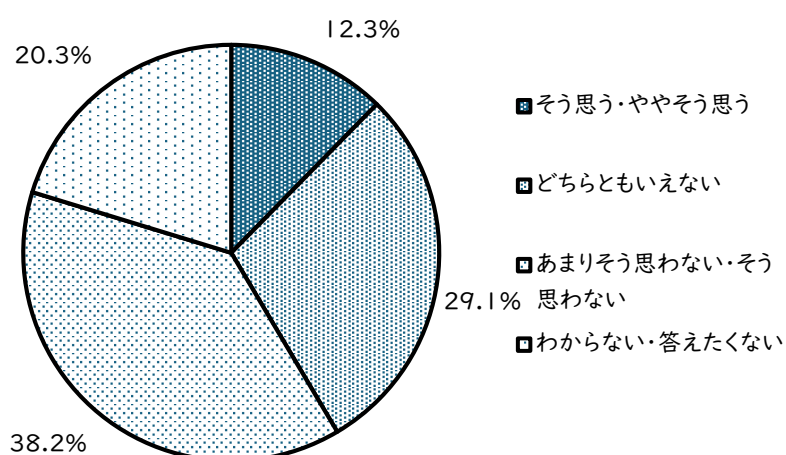
	ぜひ行ってみたい	興味はある	あまり興味がない	まったく興味がない	わからない・答えたくない
件数	50	67	24	16	14
割合	29.2%	39.2%	14.0%	9.4%	8.2%



問 23 で回答した「居場所があったら行ってみたい」と答えた方（「ぜひ行ってみたい」「興味はある」の合計）は 68.4%となりました。

問 25 高知市のまちづくりや行政の取組に、あなたの声が反映されていると思いますか。(n=1,750)

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない・答えたくない
件数	47	169	510	383	286	355
割合	2.7%	9.7%	29.1%	21.9%	16.3%	20.3%

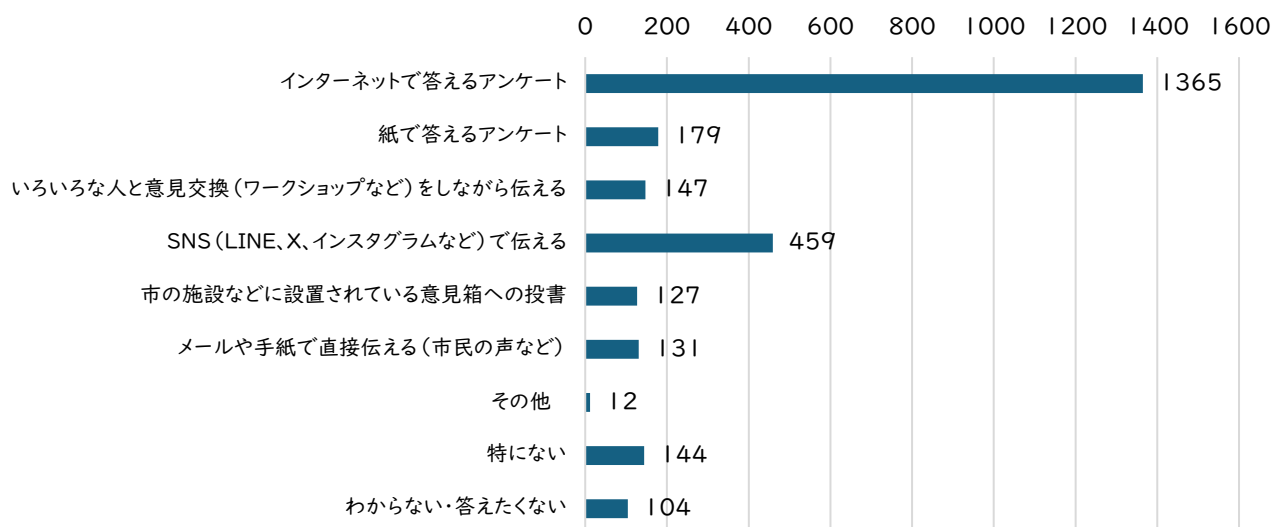


高知市のまちづくりや行政の取組に、あなたの声が反映されているか、については、「思わない」（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）が 38.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.1%となりました。「思う」（「そう思う」「ややそう思う」の合計）が最も低く 12.3%となりました。

(4) 若者の声を聴く取組

問 26 あなたが高知市（行政）に意見や思いを届けやすいと感じる方法は何ですか。（複数選択可）（n=1,750）

	インターネットで 答えるアンケート	紙で答える アンケート	いろいろな人と意 見交換（ワークシ ョップなど）をしな がら伝える	SNS（LINE、X、 Instagramなど）で伝える	市の施設などに 設置されている 意見箱への投書
件数	1,365	179	147	459	127
割合	78.0%	10.2%	8.4%	26.2%	7.3%
	メールや手紙で 直接伝える（市民 の声など）	その他	特になし	わからない・ 答えたくない	
件数	131	12	144	104	
割合	7.5%	0.7%	8.2%	5.9%	

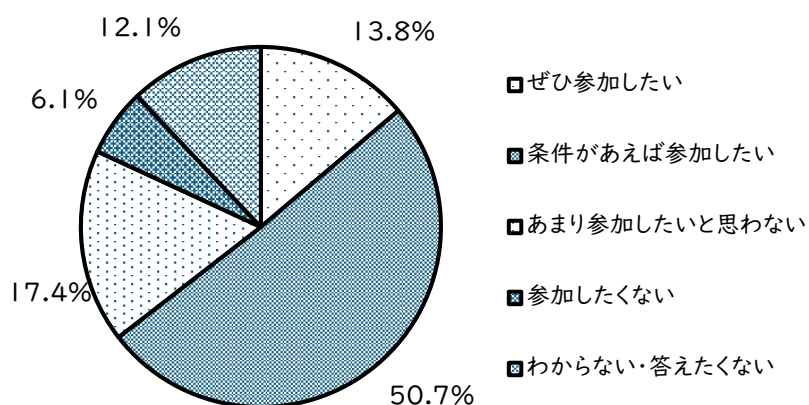


意見や思いを行政に届けやすい方法としては、「インターネットで答えるアンケート」が最も多い回答となりました。

次いで、「SNS で伝える」が多くなっており、対面ではなく Web 上の方が意見を伝えやすい、という結果となっています。

問 27 あなたの意見や思いを届ける仕組みがあれば、参加したいと思いますか。(n=1,750)

	ぜひ参加したい	条件があれば参加したい	あまり参加したいと思わない	参加したくない	わからない・答えたくない
件数	242	887	304	106	211
割合	13.8%	50.7%	17.4%	6.1%	12.1%



参加したい(「ぜひ参加したい」「条件があれば参加したい」の合計)が、64.5% となっており、多くの方が参加したいと回答しています。

問28 意見や思いを届ける仕組みがあれば、参加してみたい理由やためらう理由があれば教えてください。(n=435)

【参加してみたい理由】

区分	主な意見
方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のようなアンケートがあれば匿名であり答えやすい。 ・WEB 等で意見交換などができる簡単で気軽に参加できるようなものであれば参加したい。 ・インターネットであれば負担なく参加することができる。
仕組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・個人を特定されないものがいい
今後への希望	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも生まれ育った高知市が良くなる仕組みであれば参加したい ・みんなが住みやすいと思う街になってほしい ・こどもの将来のため

【ためらう理由】

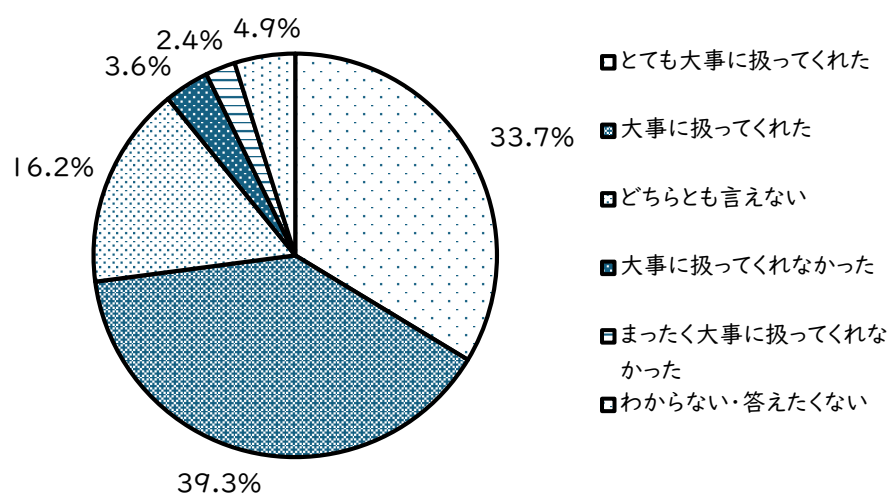
区分	主な意見
意見反映への不安	・意見が反映されるのか不安 ・どうせ変わらないだろうと思ってしまう。
時間的制約	・なかなか時間がもてない ・インターネットなどのように気軽に参加できるものであれば参加したい。 逆に時間や場所が拘束されるものは、仕事と生活で時間的に余裕がないため参加をためらう。
その他	・めんどくさい

(5) あなたの子どもの頃のこと

あなたは小学生・中学生・高校生年代の頃に、身近な大人（例：親、学校の先生など）は、あなたについてのことを決めるときにあなたの意見を聞いて、大事に扱ってくれましたか。

問 29 小学生の頃（12 歳頃まで）（n=1,750）

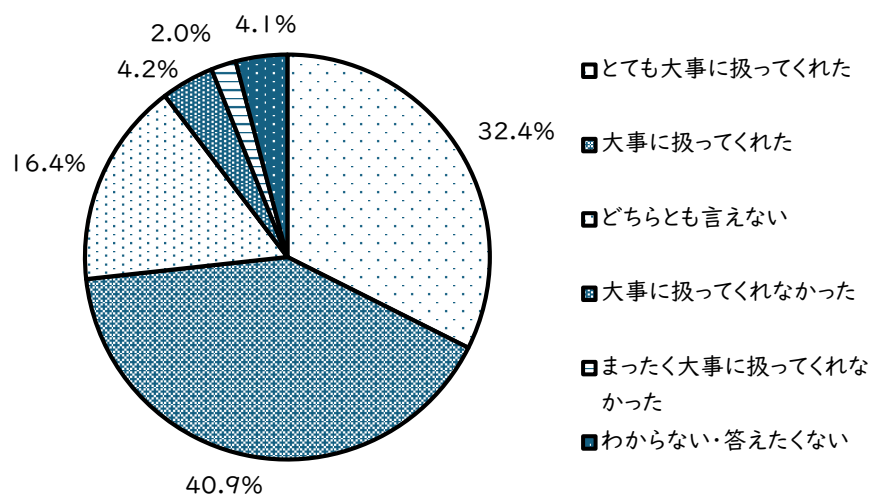
	とても大事に扱ってくれた	大事に扱ってくれた	どちらとも言えない	大事に扱ってくれなかった	まったく大事に扱ってくれなかった	わからない・答えたくない
件数	589	687	284	63	42	85
割合	33.7%	39.3%	16.2%	3.6%	2.4%	4.9%



小学生の頃、大事に扱ってくれた（「とても大事に扱ってくれた」「大事に扱ってくれた」の合計）が、72.9% となっており、多くの方が大事に扱ってくれた、と回答しています。

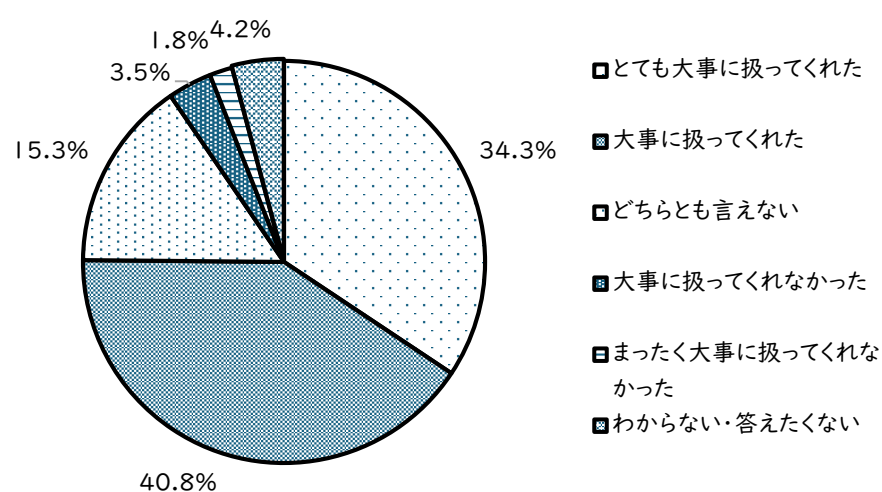
問 30 中学生の頃(12歳~15歳の頃)(n=1,750)

	とても大事に扱ってくれた	大事に扱ってくれた	どちらとも言えない	大事に扱って くれなかった	まったく大事 に扱ってくれ なかった	わからない・ 答えたくない
件数	567	715	287	74	35	72
割合	32.4%	40.9%	16.4%	4.2%	2.0%	4.1%



問 31 高校生の頃(15歳~18歳の頃)(n=1,750)

	とても大事に扱ってくれた	大事に扱ってくれた	どちらとも言えない	大事に扱って くれなかった	まったく大事 に扱ってくれ なかった	わからない・ 答えたくない
件数	601	714	268	62	32	73
割合	34.3%	40.8%	15.3%	3.5%	1.8%	4.2%



問32 大事に扱ってもらえたことのなかで、特に記憶・印象に残っていることはどんなことですか。(n=840)

区分	主な意見
進路・意思決定への尊重・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択（高校・大学・専門学校等）で意見を尊重してくれた。 ・自分のやりたいことや夢を否定せず応援してくれた ・最後まで真剣に考え、相談に乗ってくれた
日常的な愛情・サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住に困らない生活を提供してくれた ・毎日お弁当や送り迎えをしてくれた ・常に見守り、必要な時に助けてくれた
困難時の寄り添い・心理的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校、人間関係の悩みについて、話を聞いてくれた。 ・学校や家庭でつらいとき、無理強いせず休ませてくれた ・先生や保健室、ソーシャルワーカーなど専門家の寄り添いもあった
個性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・個性や好きなことを伸ばしてくれた ・自分の考えや意見を否定せず聞いてくれた
教育・成長の機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・習い事や部活動など、積極的に支援してくれた。 ・塾、留学等、学びの機会を提供してくれた。 ・教育環境を整えてくれた

多くの意見をまとめると、「進路選択や意思決定への尊重」「日常的な愛情・サポート」「困難時の心理的支援」「個性の尊重」「教育機会の提供」といった点で大事に扱われたと感じていることが分かりました。

多くの回答では、家族をはじめとした周囲の大人からの、話を聞くことや意見の尊重といった、こどもの気持ちに寄り添った行動が幸福感や安心感につながっていることが分かります。

問33 大事に扱ってもらえなかったことのなかで、特に記憶に残っていることはどんなことですか。(n=211)

区分	主な意見
進路・意思決定の強制・不尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する進学先を否定され、選択できなかった。 ・家庭の経済事情で進路選択が制限された。 ・意見を伝えても、否定・無視された。
無関心・放置・否定	<ul style="list-style-type: none"> ・助けてほしい時に話を聞いてもらえなかった。 ・いじめ、不登校、人間関係の悩みに教師や親が見て見ぬふりをした。

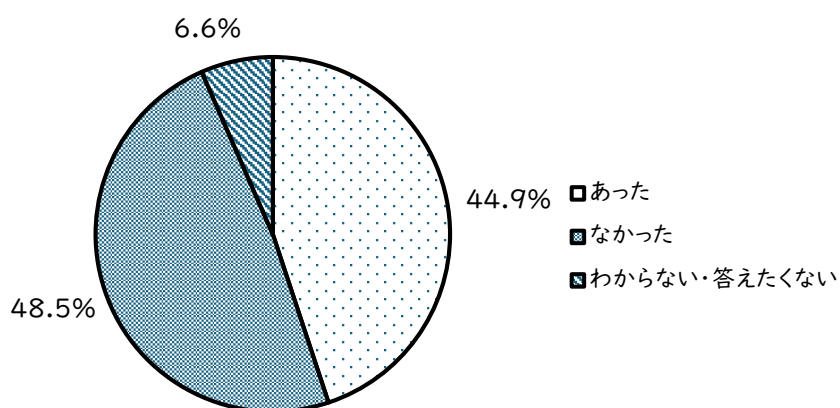
	・親が忙しく、話す機会がなかった
過度な干渉・放任	・過干渉により、自分の意思や希望がないがしろにされた ・家庭内で自分だけが我慢や犠牲を強いられた
暴力・虐待・人格否定	・家庭内暴力やしつけ（叱責・暴力）が厳しかったこと ・親から人格否定や暴言を受けた
経済的・物理的な制約 や無関心	・経済的事情で進学・習い事・生活の選択肢が制限された ・親が仕事を優先し、こどもに時間や関心がなかった

「大事に扱われなかった」と感じる意見は、進路や意思決定の不尊重、困難時の放置、差別的扱い、暴力・虐待、経済的制約、教師・学校の否定的対応など多岐にわたります。

家庭内外で、個として尊重されず、話を聞いてもらえない・選択肢を与えられない・助けてもらえない、といった体験が多く、精神的な孤独につながっていると考えられます。

問 34 あなたが小学生・中学生・高校生の頃に、学校に行きづらい・行けなかった経験はありましたか。(n=1,750)

	あった	なかった	わからない・ 答えたくない
件数	786	849	115
割合	44.9%	48.5%	6.6%



学生の頃に学校に行きづらい・行けなかった経験について、「あった」が44.9%、「なかった」が48.5%となっており、ほぼ同じ割合となっています。

問 35 そのときに心の支えになったもの・こと・人があれば教えてください。(n=337)

区分	主な意見
もの	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS、インターネット、ゲーム ・ペット ・好きなキャラクター、推し（アイドル 等） ・趣味（読書、絵を描く、スポーツ 等）
こと	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなことに没頭する時間（アニメ鑑賞、ゲーム、音楽鑑賞 等） ・一人の時間、自宅でゆっくりする ・学校外の居場所（習い事、児童館 等） ・親や先生、友人が話を聞いてくれる、見守ってくれる環境や安心感
ひと	<ul style="list-style-type: none"> ・家族（両親、祖父母、兄弟姉妹 等） ・友人、恋人 ・先生（担任、保健室の先生、学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等） ・児童館の指導員 ・主治医、カウンセラー 等
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・支えはなかった ・自分で我慢するしかなかった ・時間が解決するのを待った

困難な状況での支えは人によって異なり、身近な人の存在や趣味・娯楽・インターネット、そして自分自身の価値観など、様々な「支えとなるもの」が分かりました。一方、「支えがなかった」「自分で我慢するしかなかった」「時間が解決するのを待った」という回答も一定数見られ、全ての人に十分な支援や安心できる居場所があったわけではないことも明らかになりました。

今後は、これらの多様な支えのあり方を踏まえ、学校・家庭・社会全体で一人ひとりの“居場所”や“心の拠り所”を大切にする取組みが求められます。

問36 そのとき、あったら良かったと思う場所やものはありますか。(n=297)

区分	主な意見
場所	<ul style="list-style-type: none"> ・一人になれる場所や空間 ・学校以外の居場所（フリースクールなど学校に行かなくても勉強できる場所） ・気軽に相談できる場所、相談窓口 ・話を聞いてくれる大人がいる場所 ・同じ悩みを抱える人のコミュニティ

もの	(インターネット) ・SNS、LINE 等で、匿名で相談できるツール ・オンライン相談窓口やネットで気軽に相談できる場所 (学校関連) ・勉強が遅れていても心配なくていい教室/ 学校以外の学びの選択肢 ・欠席にならない休み制度 ・投書箱や気軽に SOS が出せる面談の場
その他	・話を聞いてくれる人 ・味方になってくれる存在 ・周囲の定期的な声かけ

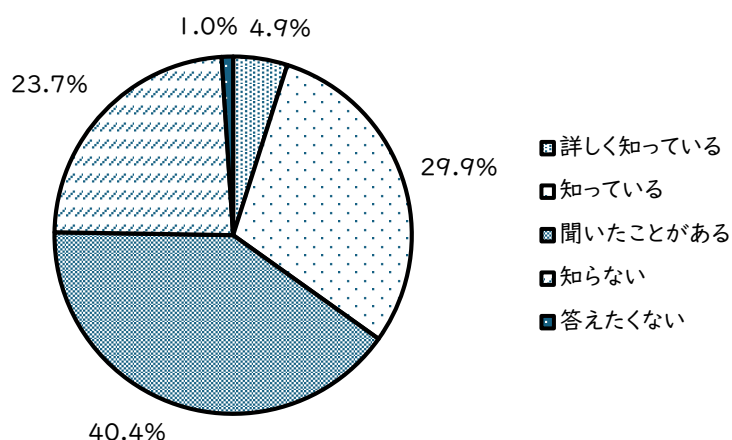
多くの人が「一人になれる場所」「学校・家庭以外の居場所」「気軽に相談できる場所」「オンラインや SNS を通じたサービス」「金銭的・制度的なサポート」を必要と感じていることが分かります。これらは、孤立感の軽減、安心感の提供、悩みや困難への具体的な支援、自己肯定感の維持に大きく寄与する要素です。今後、教育・福祉・地域社会など多様な分野で、個々のニーズに応じた「居場所」「相談窓口」「制度・インフラの充実」が重要になると考えられます。

(6) こどもの権利

問 37 あなたは、次の「こどもの権利」について知っていますか。(n=1,750)

すべてのこどもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること

	詳しく知っている	知っている	聞いたことがある	知らない	答えたくない
件数	86	524	707	415	18
割合	4.9%	29.9%	40.4%	23.7%	1.0%

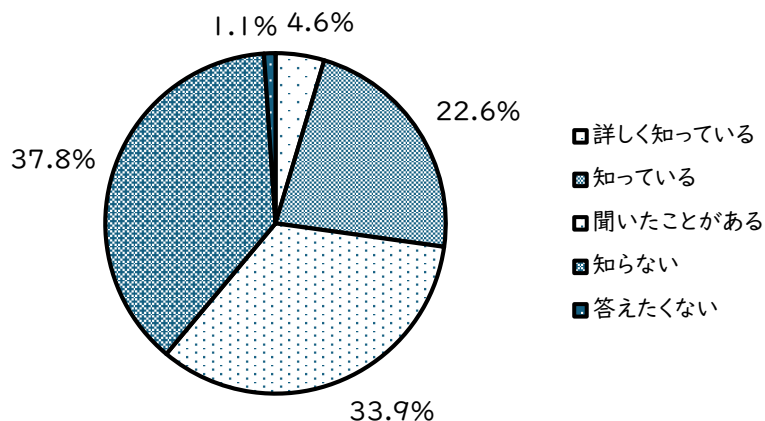


「聞いたことがある」が最も多く 40.4% となっています。「知っている」（「詳しく知っている」「知っている」の合計）は 34.9% にとどまっており、「知らない」と回答した方は 23.7% となっています。

問 38 あなたは、次の「こどもの権利」について知っていますか。(n=1,750)

子どもに関することが決められ、行われるときは「その子どもにとって最もよいことはなにか」を第一に考えること

	詳しく知っている	知っている	聞いたことがある	知らない	答えたくない
件数	81	395	593	662	19
割合	4.6%	22.6%	33.9%	37.8%	1.1%

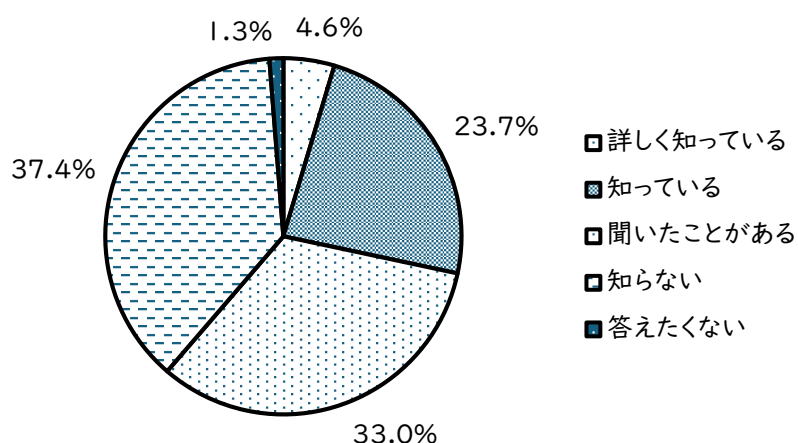


「知らない」と回答した人が最も多く 37.8% となりました。次いで「聞いたことがある」が 33.9% となっており、「知っている」（「詳しく知っている」「知っている」の合計）と回答した人は、27.2% にとどまりました。

問 39 あなたは、次の「こどもの権利」について知っていますか。(n=1,750)

こどもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見をこどもの発達に応じて十分に考慮すること

	詳しく知っている	知っている	聞いたことがある	知らない	答えたくない
件数	81	415	577	655	22
割合	4.6%	23.7%	33.0%	37.4%	1.3%

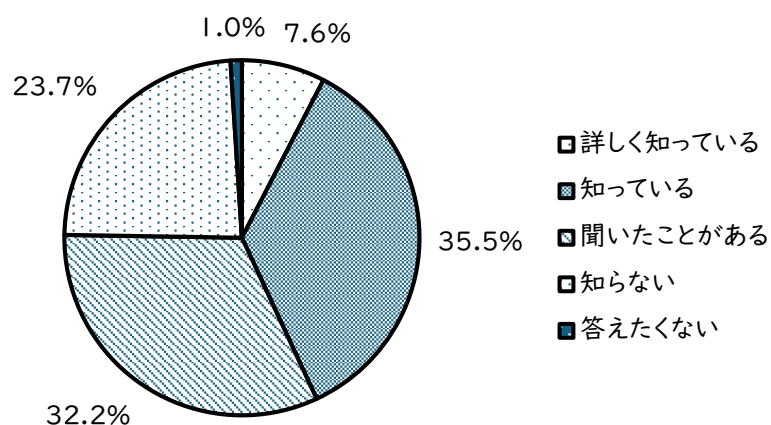


「知らない」と回答した人が最も多く 37.4%となりました。次いで「聞いたことがある」が 33.0%となっており、「知っている」「詳しく知っている」「知っている」の合計)と回答した人は、28.3%にとどまりました。

問 40 あなたは、次の「こどもの権利」について知っていますか。(n=1,750)

すべてのこどもは、こども自身や親の人権や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されないこと

	詳しく知っている	知っている	聞いたことがある	知らない	答えたくない
件数	133	621	563	415	18
割合	7.6%	35.5%	32.2%	23.7%	1.0%



「知っている」「詳しく知っている」の合計)と回答した人は、43.1%と最も高くなりました。「次いで「聞いたことがある」が 32.2%となっており、他のこどもの権利と比較すると、認知度はやや高くなっています。

(7) 高知市へ伝えたいこと(困っていること・感じていること)があれば自由に入力してください。(n=559)

区分	キーワード	主な意見
子育て支援	子育て/支援/生活/保育	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料・給食費・教材費等の負担軽減 ・多子世帯/ひとり親世帯への支援 ・子育てしやすい環境づくりをしてほしい ・不登校、いじめ、発達障害児への対応と居場所づくり ・学童保育等、こどもの居場所を拡充してほしい
.	場所/公園/施設/センター/遊べる	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日や猛暑でも遊べる室内遊び場(無料施設)が欲しい ・イベント、ボランティア、交流の場の拡大 ・自然を生かした体験型施設が欲しい ・オンライン相談、交流の場を増やしてほしい
雇用・経済	お金/仕事/制度/働く	<ul style="list-style-type: none"> ・就職先、業種の選択肢が少ない ・物価高騰に対する対策、金銭的支援が欲しい
その他	-	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の声の反映や透明性を高めてほしい ・こどもの権利教育、権利意識の普及をしてほしい

【テキストマイニング分析による共起ネットワーク】

…頻出語の共起ネットワークで、実線は強い関係性、破線は弱い関係性を示しています。

